

# 令和8年度第1回学校運営協議会議事録

日 時 令和8年5月13日(水) 午前10時から12時まで

場 所 静岡中央高等学校 中会議室

参加者 委 員 出席4人(欠席2人)  
教職員 校長、副校長3人、教頭3人 事務長、主幹

## 次 第 1 校長挨拶

- ・インスタグラムを開設した。ブランディングとプロモーションが重要と考える。
- ・行きたい学校づくりが3年目を迎える。今後の改革に繋げたい。
- ・運営協議会では外からの指摘をお願いしたい。

## 2 任命状の交付

## 3 自己紹介

## 4 会長及び副会長の選出

### <協議題> 議事進行：会長

#### 1 令和8年度学校経営計画について(校長より昨年度からの変更点を中心に説明)

##### (1) 定時制の課程

- ・プライマリー1年生の生徒についてはBYODにより1人1台端末を導入。
- ・ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」、「教科横断的な学び」の授業の導入。
- ・「総合的な探究の時間」としてのゼミ活動の充実。
- ・キャリア教育を含めた進路指導體制の整備。
- ・居場所カフェを含めた定通連携の生徒支援の強化。
- ・定通連携による生徒会・部活動の活性化。
- ・食習慣や健康に関する正しい知識と豊かな心と健康な身体の育成。
- ・不審者対応等、安全安心な教育環境の整備。
- ・PTA活動の強化と保護者への適切な情報提供。
- ・ダイバーシティハイスクールからの学校改革の推進。

##### (2) 通信制の課程

- ・単位修得率の成果目標を60%に設定。
- ・上位科目の導入の検討。
- ・ICTを活用した「主体的・対話的で深い学び」、「教科横断的な学び」の授業の導入。
- ・オンラインスクーリング、オンラインレポートの研究。
- ・Google Classroomや居場所カフェを活用した生徒支援の充実。
- ・協働や発信、発表を含めた探究レポートの改善。
- ・三島長陵高、新居高と連携した防災訓練、防災教育の推進。
- ・インスタグラム等、SNSを活用した広報活動の充実。

### (質疑応答)

- 委 員 ・「個別の指導計画」は作成で完結せずに「活用」まで記載をお願いしたい。  
・自立活動では困難を主体的に改善・克服する「意欲と態度の育成」が大切。  
・「グローバルデザイン」は何を示しているか。先生方で共有できていれば良い。
- 委 員 ・発災時を含め、多様な人が来校する学校になるとセキュリティレベルが心配。
- 委 員 ・保育の現場でもセキュリティは課題。保護者連絡もネット上で済む。
- 校 長 ・定時制は健康管理もアプリで実施している。LMSの導入に向けても考慮する。

- 委員 ・通信制で50%弱が単位未修得のデータがあるが大きな課題。  
・学力不足の生徒に自学自習や遠隔授業は難しい。  
・個別指導が必要な生徒が必ずいる。
- 校長 ・個別指導を受けに学校に来てくれる生徒への窓口を広げたい。

令和8年度学校経営計画を承認。

## <報告事項>

### 1 現状と課題等の報告（副校長より説明）

#### (1) 定時制の課程

- ・コロナ禍で休止していた科目履修再開（7人履修）。
- ・探究ルームを設置し、ICT機器と外部人材の積極的活用、内容の充実を進める。
- ・行きたい学校づくり、ダイバーシティハイスクール事業の3年目で、集大成とする。
- ・居場所カフェのさらなる充実を図る。
- ・令和7年度末卒業生は進学64人、就職23人、進学準備5人、その他23人。

#### (2) 通信制の課程

- ・令和8年度入学生263人（昨年度より39人減）。
- ・令和7年度末卒業生は進学76人、就職38人、進学準備8人、その他63人。
- ・卒業生の4割が進路未定であり、大きな課題。
- ・学習支援、キャリア教育、居場所づくりを重点的な取り組みに位置づけ。
- ・LMSの導入、ICTの活用、BYODの導入、オンラインスクーリングの実施。

### 2 意見交換

- 委員 ・ツールの変換とともにAIの活用が大切。AIとであれば対話できる生徒もいる。  
・対話型AIのアプリ開発と導入は是非進めてほしい。
- 校長 ・業者のアプリで生徒に学力を判断して教材を提供するものが既にある。  
・AIは今後の教育に取り入れていきたい。
- 委員 ・在宅でもAIと対話しながら課題を提供してもらって学習を進める方法もある。  
・学校側もAIを超えるものを提供する必要がある。
- 校長 ・AIが判断して提供するもので生徒が成長した例もある。  
・AIの添削と教員の添削のハイブリッドで活用することも考えられる。
- 委員 ・中央高校でもAIを活用した「学び方」を身に付けることができると良い。
- 通副校長 ・AIに到達目標を設定して課題を提示してもらおう等、個別な学びができる。
- 委員 ・AIを活用した個別最適な学びがある。  
・AIを選んでも良いし、人を選んでも良い。
- 委員 ・全日制の枠に合わない生徒が自分に合った学びを求める学校になる。
- 委員 ・転編生の履修率が非常に低い。何か傾向があるのか。
- 通副校長 ・入学時点でかなり疲弊している生徒が多く、回復に至らなかった印象がある。
- 委員 ・公立高校も定員割れの影響で今までにない多様な生徒が入学している。  
・学習が身に付いていない生徒が本校にさらに入学するようになると考えられる。
- 通副校長 ・強い進学意識で通信制に転入して、しっかり学びたいと考える生徒の例もある。
- 委員 ・今後はさらに多様な生徒に対応する力が学校や教員に必要。

## <連絡事項>

### 1 今後の日程について（予定）

#### (1) 第2回学校運営協議会

令和8年11月7日（土）※文化祭開催日

午前9時30分から午前11時30分まで

(2) 第3回学校運営協議会  
令和9年2月上旬

<校内見学・散会>

参加者で定時制の授業や通信制のスクーリング、施設を見学。  
見学終了後、散会（12時）。